別紙様式２（第８条関係）

**遺 伝 子 組 換 え 実 験 計 画 書**

（特定飼育区画又は特定網室等における実験）

　 年　 月　 日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請の種類(注１) | 実験の区分(注２) | 拡散防止措置(注２) | 公的経費(注３) |
| □新規□継続(　年　月　 号)□変更( 年　月　 号) | ・微生物・培養細胞を宿主とする実験□未同定核酸実験□同定済み核酸実験□大量培養実験・動物を用いる実験　　□作出　□使用　□接種・植物等を用いる実験　□作出　□使用　□接種 | □特定飼育区画□特定網室□その他 | □有　□文科省　　科研費　□その他( )□無 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実験実施機関 | 所　　　在　　　地 | (〒　 )　 |
| 名　　　　　　　称 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 代表者の職名・氏名 |  |
| 課　　　題　　　名 |  |
| 実験実施期間（注４） |  年　 月　から　　　　　　 　年　 月　まで |
| 実験責任者 | 所属部局の所在地 | (〒 )　 |
| 所属機関・部局・職名 | 　 |
| 氏　　　　　　　名 | TEL FAX E-mail |
| 実験場所 | 所　　　在　　　地 | (〒 )　 |
| 名　　　　　　　称 |  |
| 実験従事者 | 別添「実験従事者一覧」のとおり  |
| 安全委員会が本実験計画の実施を適当と認める理由(注５) |  |
| 委員長の所属部局・職名・氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 実　験　の　目　的 |  |
| 実　験　の　概　要 |  |

（Ａ）組換え生物等に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 組換え生物等の種類及びその作出方法（注６） |  |
| 宿主及び宿主の属する生物種 | 分類学上の位置（注７） |  |
| 自然界における分布（注８） |  |
| 生殖・繁殖様式及び遺伝的特性（注９） |  |
| 当該生物等の属する生物種における有毒物質産生の有無（注10） |  |
| その他の特性（植物等の場合は雑草性の有無を含む）（注11） |  |
| 供与核酸の由来、種類、機能、大きさ、純化の程度及びその構成（注12） |  |
| ベクターの由来、構成及び特性（注13） |  |
| 組換え核酸分子の構成図（注14） |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | これまでの実験経過（注15） |  |
| これまでの実験で得られた知見 | 元の宿主と組換え生物等の相違 | 供与核酸の発現 | 発現形質 |  |
| 発現の可能性（注16） |  |
| 供与核酸の存在状態（注17） |  |
| 有毒物質産生の有無 |  |
| 生殖、繁殖様式及び遺伝的特性 |  |
| その他の特性 |  |
| その他得られた知見 |  |

（Ｂ）組換え生物等を接種する動植物に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 組換え生物等の接種の方法 |  |
| 及び当該動植物等の属する生物種 | 組換え生物等を接種する動植物等 | 分類学上の位置（注７） |  |
| 自然界における分布（注８） |  |
| 生殖・繁殖様式及び遺伝的特性（注９） |  |
| 当該生物等の属する生物種における有毒物質産生の有無（注10） |  |
| その他の特性（植物等の場合は雑草性の有無を含む）（注11） |  |
| 組換え生物等の接種が動植物等に与える影響（注18） |  |

（Ｃ）実験の実施方法に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 栽培・飼育等の規模（注19） |  |
| 栽培・飼育等の方法（注20） |  |
| 施　　設　　等 | 位置及び周辺との隔離状況（注21） |  |
| 規模、構造及び設備（注22） |  |
| 周辺の環境における生物種（注23） |  |
| 周辺の環境の気象条件及びその影響（注24） |  |
| 組換え生物等の区域外への漏出・飛散・逃亡防止のための措置（注25） |  |
| 組換え遺伝子の区域外への伝播防止のための措置（注26） |  |
| 実験終了後の組換え生物等、廃棄物等の処置方法及びその有効性（注27） |  |
| 実験区域への従事者以外の立入防止の措置（注28） |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 所属部局長の確認(注29) |  年　　月　　日　　　　　　　　 |

計画書記入要領

本様式の各項目に記入する。記入できない場合は別紙を添付し、該当項目に別紙番号を記入すること。

課題名等の他、組換え生物等を用いる実験は（Ａ）及び（Ｃ）について、組換え生物等を動植物等に接種する実験は（Ａ）から（Ｃ）について必要事項を記入すること。

注１．　該当項目にチェックを入れ、変更及び継続の場合は前回承認を受けた年月及び承認番号を記入すること。

注２.　本計画において該当する項目全てにチェックを入れること。

注３.　公的経費の有無について該当項目にチェックを入れるとともに、ある場合はその種類を記入すること。

注４.　予定している実験実施期間（５年を限度とする）を記入すること。

注５.　安全委員会及びその委員長が本計画を安全に実施できると認める理由を記入すること。（実験計画、場所、従事者の妥当性など）

注６.　使用する組換え生物等の種名及び作出方法（パーティクルガンにより細胞に核酸を導入した後に植物体を再生等）を具体的に記入すること。

注７.　和名及び学名を記入すること。

注８.　わが国における分布状況及び必要に応じて原産国等における分布状況を記入すること。

注９.　植物の場合は以下①～⑥について、その他の場合は自然界における生活サイクルについて記入すること。［①種子繁殖、栄養繁殖の別 ②一年生、多年生の別 ③種子又は栄養体の拡散様式 ④自家受粉、他家受粉の別 ⑤ 花粉の拡散様式 ⑥交雑様式］

注10.　有毒物質産生がある場合は、その名称及び有害の程度を記入すること。

注11.　生育可能温度等の生育条件を記入すること。

注12.　核酸供与体の属・種・必要に応じて系統名、ゲノム・相補などの核酸の種類、構造遺伝子・発現調節遺伝子等の機能、使用する核酸の機能部分の大きさ、クローン化等による純化の有無及びその程度、各機能部分の構成図等について記入すること。

注13.　薬剤耐性等ベクター内の遺伝子機能、その由来及び構成について記述すること。

注14.　供与核酸及びベクターの構成を遺伝子部位等を含め図示すること。

注15.　組換え動植物等の作成実験、植物等栽培施設における栽培実験又は動物飼育施設における繁殖等これまでに実施してきた実験について、計画の機関内安全委員会における承認年月日、実験の時期、方法、組換え動植物等の継代数等を含めて具体的に記入すること。

注16.　発現を検討した個体の数、世代数、分析方法について記入すること。

注17.　供与核酸の存在の状態を、検討した個体の数、世代数、分析方法を含め記入すること。

注18.　組換え生物等を接種した動植物等についてその予想される影響を記入すること。

注19.　栽培する組換え植物等又は組換え生物等を接種する植物等の個体数と栽培面積、飼育する組換え動物又は組換え生物等を接種する動物の個体数と飼育面積等を記入すること。また、当該施設において異種の生物が栽培・飼育されている場合等はその生物種及び栽培歴・飼育歴等を記入すること。

注20.　組換え植物等又は組換え生物等を接種する植物等の栽培方法と容器の使用の有無、組換え動物又は組換え生物等を接種する動物の飼育方法と容器の使用の有無等について記入すること。

注21.　使用する施設・実験区域等の位置が分かるように、周辺の建物・河川等をあわせ図示すること。

注22.　使用する施設・実験区域等の規模、構造及び設備、安全委員会による承認年月日について記入すること。

注23.　使用する施設・実験区域等の周辺に、組換え生物又は組換え生物等を接種する生物と交配可能な生物が生息する場合に記入すること。

注24.　最高気温、最低気温、平均気温、降水量その他の気象条件及び、組換え生物等又は組換え生物等を接種する動植物等の生育や生存に対する影響について記入すること。

注25.　消毒、除雄、袋かけ、栽培容器の使用、飼育容器の使用、実験衣の着用等、組換え生物等又は組換え生物等を接種する生物が実験施設・区域外に流出しないために講ずる措置を具体的に記入すること。

注26.　大量培養実験、動植物等を用いる実験の場合に記入すること。培養・飼育・栽培時における漏出・逃亡・飛散 防止に係る管理方法、種子・水・排泄物の不活化等、拡散防止措置について記入すること。

注27.　実験終了後の組換え生物等又は組換え生物等を接種した生物のみならず、培養・栽培・飼育中に接触した器具類や廃棄物の具体的処理方法を、確認又は推定される有効性とあわせ記入すること。

注28.　「遺伝子組換え実験中」の表示、金網、くい、ネズミ返し等、講ずる措置を具体的に記入すること。

注29.　所属部局の長が確認の上、確認した日付及び氏名を記入すること。